

令和3年社会生活基本調査 結果の概要（香川県分）

- ◇社会生活基本調査は、「1日の生活時間の配分」及び「1年間の自由時間における主な生活行動」（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的とするものである。
- ◇この調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査は10回目に当たる。令和3年の調査は、令和3年10月20日現在で実施され、総務省が指定した約7,600調査区（香川県は131調査区）のなかで無作為に選定した約91,000世帯（香川県は約1,600世帯）に住んでいる10歳以上の世帯員約19万人（香川県は約3,600人）を対象としている。
- ◇「1日の生活時間の配分」は、令和3年10月16日から令和3年10月24日までのうち、調査区ごとに指定された連続する2日間（生活時間の指定日）について調査した結果である。
- ◇「1年間の主な生活行動」は、令和2年10月20日から令和3年10月19日までの過去1年間の自由時間において、該当する活動を行った状況について集計したものである。
- ◇今回の「令和3年社会生活基本調査の結果の概要（香川県分）」は、令和4年8月31日に総務省統計局から、調査の集計結果と概要が公表されたことに伴い、その内容について香川県分の基本的事項についてまとめたものである。
- ◇本文、図中の数値のポイント差は、表章数値から算出している。また、「1日の生活時間の配分」は、特に断りのない限り、総平均時間の数値を記載している。また、「1年間の主な生活行動」の本文中の各活動の種類名については、一部省略をしている。
- ◇統計表中の「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。「…」は、サンプルサイズが10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所である。

目 次

I	生活時間に関する結果の概要（用語と分類）	1
1	1日の生活時間の配分	2
2	家事関連時間	4
3	仕事時間	5
4	介護・看護時間	6
5	6歳未満の子供を持つ世帯の家事及び育児時間	7
6	高齢者の生活時間	8
7	スマートフォン・パソコンなどの使用状況	9
8	香川県の通勤・通学時間	10
II	生活行動に関する結果の概要（用語と分類）	11
1	学習・自己啓発・訓練	12
2	ボランティア活動	13
3	スポーツ	14
4	趣味・娯楽	15
5	旅行・行楽	16

I 生活時間に関する結果の概要

用語と分類

1 行動の種類

1日の行動を20種類に分類し、時間帯（15分単位）別の行動状況（同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ）を調査した。

20種類の行動は大きく三つの活動にまとめ、**1次活動**（睡眠、食事など生理的に必要な活動）、**2次活動**（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動）及び**3次活動**（1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動）とした。

区分	行動の種類（20種類）
1次活動	睡眠 身の回りの用事 食事
2次活動	通勤・通学 仕事 学業 家事 介護・看護 育児 買い物
3次活動	移動（通勤・通学を除く） テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 休養・くつろぎ 学習・自己啓発・訓練（学業以外） 趣味・娯楽 スポーツ ボランティア活動・社会参加活動 交際・付き合い 受診・療養 その他

また、必要に応じ、次の区分も用いている。

- * 仕事等……………「通勤・通学」、「仕事」及び「学業」
- * 家事関連……………「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」

2 平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間数で、次の種類がある。

- * 総平均……………該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均
- * 行動者平均……………該当する種類の行動をした人のみについての平均
- * 週全体平均……………曜日別結果を平均して算出したもの。
- * 平日平均……………月曜日～金曜日の平均値を算出したもの。

1 1日の生活時間の配分

5年前に比べ休養・くつろぎの時間が17分の増加、仕事時間が13分の減少。

香川県に住んでいる10歳以上の人について、行動の種類別に週全体平均（以下「週全体」という。）による1日の生活時間をみると、睡眠時間が7時間57分、仕事時間が3時間24分、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が2時間24分などとなっている。

平成28年と比べると、休養・くつろぎの時間は17分の増加と最も増加し、仕事時間は13分の減少と最も減少している。また、睡眠時間が16分の増加、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、ボランティア活動・社会参加活動の時間が5分の減少などとなっている。

男女別に平成28年と比べると、男性は睡眠時間が16分の増加、休養・くつろぎの時間が13分の増加、仕事の時間が28分の減少、ボランティア活動・社会参加活動が6分の減少などとなっている。一方、女性は休養・くつろぎの時間が21分の増加、睡眠時間が16分の増加、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が9分の減少、学業の時間が8分の減少などとなっている。（表1-1）

また、全国と比べると、総数ではテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が16分長く、休養・くつろぎの時間が6分短くなっている。男女別では、男性はテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が20分長く、休養・くつろぎの時間が9分短くなっている。一方、女性はテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が13分長く、趣味・娯楽の時間が6分短くなっている。（表1-2）

主な行動の種類について、過去20年間の推移をみると、身の回りの用事、休養・くつろぎなどの時間は増加傾向となっている。一方、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、交際・付き合いなどの時間は減少傾向となっている。また、睡眠時間については減少傾向で推移していたが、令和3年は増加に転じた。（表1-3）

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成28年、令和3年 香川県）－週全体

	総数			男			女		
	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減
1次活動	10.41	10.55	0.14	10.32	10.48	0.16	10.49	11.01	0.12
睡眠	7.41	7.57	0.16	7.48	8.04	0.16	7.35	7.51	0.16
身の回りの用事	1.23	1.23	0.00	1.12	1.11	△ 0.01	1.34	1.35	0.01
食事	1.37	1.34	△ 0.03	1.33	1.33	0.00	1.41	1.36	△ 0.05
2次活動	6.55	6.44	△ 0.11	6.48	6.34	△ 0.14	7.01	6.54	△ 0.07
仕事等	4.48	4.31	△ 0.17	6.06	5.39	△ 0.27	3.35	3.28	△ 0.07
通勤・通学	0.26	0.26	0.00	0.33	0.32	△ 0.01	0.20	0.20	0.00
仕事	3.37	3.24	△ 0.13	4.47	4.19	△ 0.28	2.31	2.32	0.01
学業	0.45	0.41	△ 0.04	0.46	0.48	0.02	0.44	0.36	△ 0.08
家事関連	2.06	2.13	0.07	0.40	0.56	0.16	3.26	3.26	0.00
家事	1.25	1.28	0.03	0.18	0.28	0.10	2.28	2.25	△ 0.03
介護・看護	0.05	0.03	△ 0.02	0.02	0.02	0.00	0.07	0.04	△ 0.03
育児	0.12	0.15	0.03	0.05	0.07	0.02	0.18	0.22	0.04
買い物	0.24	0.27	0.03	0.15	0.19	0.04	0.33	0.35	0.02
3次活動	6.24	6.21	△ 0.03	6.40	6.39	△ 0.01	6.09	6.05	△ 0.04
移動(通勤・通学を除く)	0.27	0.23	△ 0.04	0.24	0.20	△ 0.04	0.29	0.25	△ 0.04
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.29	2.24	△ 0.05	2.31	2.31	0.00	2.27	2.18	△ 0.09
休養・くつろぎ	1.34	1.51	0.17	1.37	1.50	0.13	1.31	1.52	0.21
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.10	0.11	0.01	0.10	0.11	0.01	0.10	0.11	0.01
趣味・娯楽	0.42	0.44	0.02	0.50	0.58	0.08	0.33	0.31	△ 0.02
スポーツ	0.15	0.13	△ 0.02	0.20	0.17	△ 0.03	0.10	0.08	△ 0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.07	0.02	△ 0.05	0.09	0.03	△ 0.06	0.04	0.01	△ 0.03
交際・付き合い	0.15	0.11	△ 0.04	0.13	0.09	△ 0.04	0.17	0.12	△ 0.05
受診・療養	0.07	0.06	△ 0.01	0.06	0.05	△ 0.01	0.07	0.07	0.00
その他	0.20	0.17	△ 0.03	0.21	0.15	△ 0.06	0.19	0.18	△ 0.01

表1-2 男女、行動の種類別生活時間（令和3年 香川県、全国）一週全体

(時間、分)

	総数			男			女		
	香川県	全国	差	香川県	全国	差	香川県	全国	差
1次活動	10.55	10.57	△ 0.02	10.48	10.50	△ 0.02	11.01	11.03	△ 0.02
睡眠	7.57	7.54	0.03	8.04	7.58	0.06	7.51	7.49	0.02
身の回りの用事	1.23	1.24	△ 0.01	1.11	1.14	△ 0.03	1.35	1.32	0.03
食事	1.34	1.39	△ 0.05	1.33	1.37	△ 0.04	1.36	1.41	△ 0.05
2次活動	6.44	6.47	△ 0.03	6.34	6.36	△ 0.02	6.54	6.57	△ 0.03
仕事等	4.31	4.37	△ 0.06	5.39	5.45	△ 0.06	3.28	3.33	△ 0.05
通勤・通学	0.26	0.31	△ 0.05	0.32	0.38	△ 0.06	0.20	0.24	△ 0.04
仕事	3.24	3.28	△ 0.04	4.19	4.27	△ 0.08	2.32	2.32	0.00
学業	0.41	0.38	0.03	0.48	0.40	0.08	0.36	0.37	△ 0.01
家事関連	2.13	2.10	0.03	0.56	0.51	0.05	3.26	3.24	0.02
家事	1.28	1.27	0.01	0.28	0.25	0.03	2.25	2.26	△ 0.01
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.02	0.02	0.00	0.04	0.04	0.00
育児	0.15	0.14	0.01	0.07	0.06	0.01	0.22	0.21	0.01
買い物	0.27	0.26	0.01	0.19	0.18	0.01	0.35	0.33	0.02
3次活動	6.21	6.16	0.05	6.39	6.34	0.05	6.05	6.00	0.05
移動(通勤・通学を除く)	0.23	0.22	0.01	0.20	0.21	△ 0.01	0.25	0.23	0.02
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.08	0.16	2.31	2.11	0.20	2.18	2.05	0.13
休養・くつろぎ	1.51	1.57	△ 0.06	1.50	1.59	△ 0.09	1.52	1.56	△ 0.04
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.11	0.13	△ 0.02	0.11	0.13	△ 0.02	0.11	0.12	△ 0.01
趣味・娯楽	0.44	0.48	△ 0.04	0.58	1.00	△ 0.02	0.31	0.37	△ 0.06
スポーツ	0.13	0.13	0.00	0.17	0.16	0.01	0.08	0.10	△ 0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.02	0.02	0.00	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02	△ 0.01
交際・付き合い	0.11	0.10	0.01	0.09	0.08	0.01	0.12	0.12	0.00
受診・療養	0.06	0.07	△ 0.01	0.05	0.06	△ 0.01	0.07	0.08	△ 0.01
その他	0.17	0.16	0.01	0.15	0.15	0.00	0.18	0.17	0.01

表1-3 男女、行動の種類別生活時間（平成13年～令和3年 香川県）一週全体

(時間、分)

	総数					男					女				
	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	令和3年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	令和3年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	令和3年
1次活動	10.37	10.34	10.39	10.41	10.55	10.29	10.27	10.33	10.32	10.48	10.45	10.40	10.45	10.49	11.01
睡眠	7.51	7.42	7.45	7.41	7.57	7.57	7.49	7.51	7.48	8.04	7.45	7.36	7.41	7.35	7.51
身の回りの用事	1.11	1.16	1.19	1.23	1.23	0.59	1.04	1.09	1.12	1.11	1.22	1.26	1.28	1.34	1.35
食事	1.35	1.36	1.35	1.37	1.34	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.38	1.39	1.36	1.41	1.36
2次活動	6.45	7.01	7.00	6.55	6.44	6.32	6.53	6.58	6.48	6.34	6.58	7.09	7.03	7.01	6.54
仕事等	4.40	4.55	4.44	4.48	4.31	6.01	6.19	6.12	6.06	5.39	3.29	3.38	3.21	3.35	3.28
通勤・通学	0.22	0.24	0.23	0.26	0.26	0.29	0.31	0.29	0.33	0.32	0.17	0.18	0.17	0.20	0.20
仕事	3.40	3.52	3.40	3.37	3.24	4.54	5.04	4.58	4.47	4.19	2.33	2.46	2.27	2.31	2.32
学業	0.38	0.39	0.41	0.45	0.41	0.38	0.44	0.45	0.46	0.48	0.39	0.34	0.37	0.44	0.36
家事関連	2.04	2.06	2.17	2.06	2.13	0.31	0.33	0.45	0.40	0.56	3.29	3.32	3.41	3.26	3.26
家事	1.26	1.27	1.31	1.25	1.28	0.16	0.17	0.21	0.18	0.28	2.30	2.31	2.36	2.28	2.25
介護・看護	0.04	0.03	0.05	0.05	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.06	0.05	0.07	0.07	0.04
育児	0.12	0.13	0.15	0.12	0.15	0.03	0.03	0.06	0.05	0.07	0.21	0.22	0.24	0.18	0.22
買い物	0.22	0.23	0.26	0.24	0.27	0.11	0.12	0.16	0.15	0.19	0.32	0.34	0.34	0.33	0.35
3次活動	6.37	6.25	6.21	6.24	6.21	6.59	6.41	6.29	6.40	6.39	6.17	6.10	6.13	6.09	6.05
移動(通勤・通学を除く)	0.30	0.27	0.28	0.27	0.23	0.28	0.25	0.25	0.24	0.20	0.31	0.30	0.31	0.29	0.25
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.42	2.35	2.28	2.29	2.24	2.52	2.41	2.31	2.31	2.31	2.32	2.31	2.26	2.27	2.18
休養・くつろぎ	1.23	1.24	1.28	1.34	1.51	1.23	1.26	1.26	1.37	1.50	1.23	1.23	1.31	1.31	1.52
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	0.11	0.10	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.11
趣味・娯楽	0.38	0.45	0.41	0.42	0.44	0.44	0.52	0.49	0.50	0.58	0.32	0.38	0.34	0.33	0.31
スポーツ	0.11	0.15	0.14	0.15	0.13	0.14	0.21	0.19	0.20	0.17	0.08	0.10	0.09	0.10	0.08
ボランティア活動・社会参加活動	0.09	0.07	0.05	0.07	0.02	0.12	0.07	0.06	0.09	0.03	0.06	0.06	0.03	0.04	0.01
交際・付き合い	0.26	0.18	0.16	0.15	0.11	0.28	0.18	0.15	0.13	0.09	0.25	0.18	0.18	0.17	0.12
受診・療養	0.11	0.08	0.12	0.07	0.06	0.13	0.06	0.10	0.06	0.05	0.10	0.09	0.13	0.07	0.07
その他	0.17	0.14	0.18	0.20	0.17	0.15	0.12	0.18	0.21	0.15	0.20	0.16	0.18	0.19	0.18

2 家事関連時間

家事関連時間は全国より長く、男性が増加傾向にあるものの、男女差は依然として大きい。

家事関連時間を男女別に平成 28 年と比べると、男性は 56 分で 16 分の増加、女性は 3 時間 26 分で平成 28 年と同じ長さになっている。この結果、男女の差は 2 時間 30 分と平成 28 年の 2 時間 46 分と比べると 16 分縮小しているが、依然として差は大きいままである。

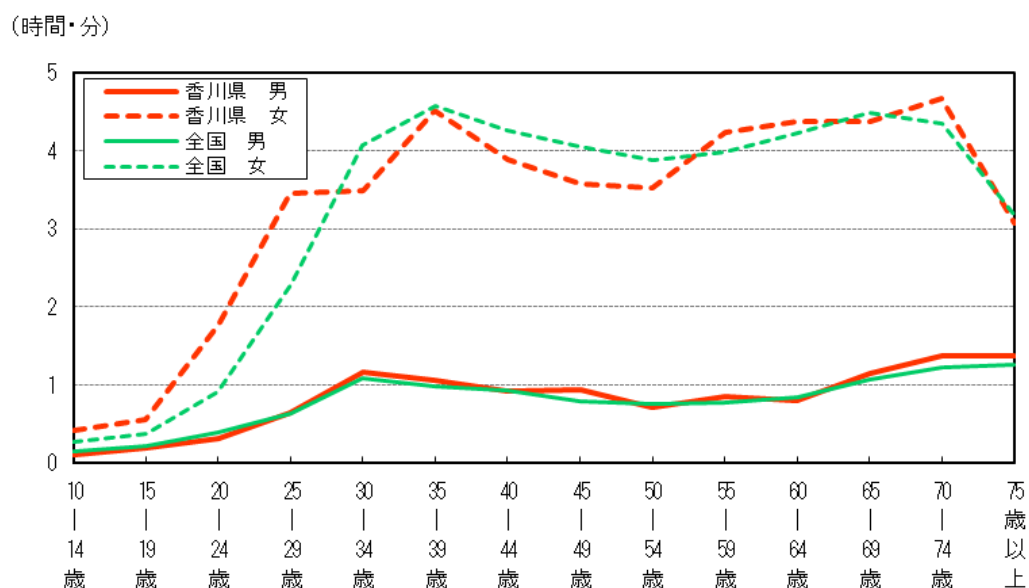
なお、全国と比べると、男性は 5 分長く、女性は 2 分長くなっている。

また、男女、年齢階級別にみると最も家事関連時間が長いのが、男性は 70～74 歳で 1 時間 23 分、女性も 70～74 歳で 4 時間 40 分となっており、全国では、男性は 75 歳以上で 1 時間 16 分、女性は 35～39 歳で 4 時間 34 分となっている。(表 2、図 1)

表 2 男女別家事関連時間（平成 13 年～令和 3 年 香川県、全国）一週全体

	香川県			全国		
	男	女	男女差	男	女	男女差
平成13年	0.31	3.29	△ 2.58	0.31	3.34	△ 3.03
平成18年	0.33	3.32	△ 2.59	0.38	3.35	△ 2.57
平成23年	0.45	3.41	△ 2.56	0.42	3.35	△ 2.53
平成28年	0.40	3.26	△ 2.46	0.44	3.28	△ 2.44
令和3年	0.56	3.26	△ 2.30	0.51	3.24	△ 2.33

図 1 男女、年齢階級別家事関連時間（令和 3 年 香川県、全国）一週全体



(注) 家事関連時間…「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計。

3 仕事時間

有業者の仕事時間は男女ともに減少しているものの、男性は全国より長い。

有業者（15歳以上。以下同じ。）についてみると、有業者数は49万人、有業率は61.8%となっており、平成28年と比べ、有業者数は3.0%の減少、有業率（※）は0.1ポイントの減少となっている。

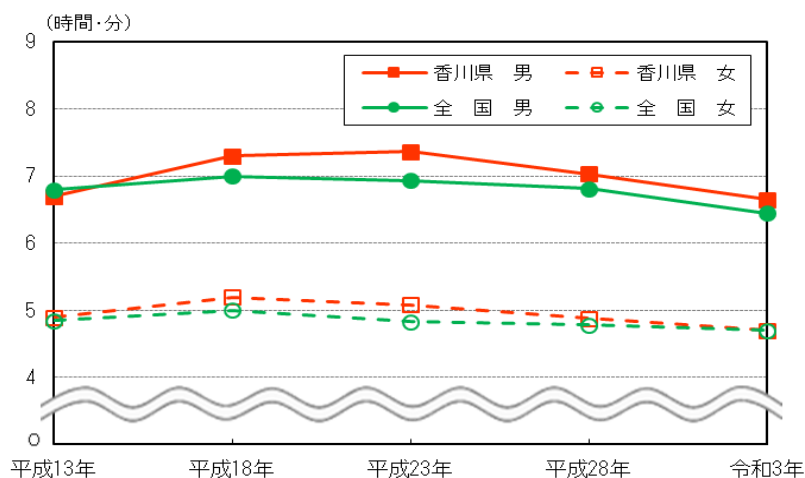
有業者の仕事時間は、男性が6時間39分、女性が4時間42分と男性が女性に比べ約2時間長くなっており、平成28年と比べると、男性は23分、女性は11分の減少となっている。

また、全国と比べると、男性は12分長く、女性は同じ長さとなっている。（表3、図2）

表3 男女別有業者数、有業率及び仕事時間（平成28年、令和3年 香川県、全国）
一週全体、15歳以上

		平成28年			令和3年			増減		
		有業者数 (千人)	有業率 (%)	仕事時間 (時間・分)	有業者数 (千人)	有業率 (%)	仕事時間 (時間・分)	有業者数 (%)	有業率 (ポイント)	仕事時間 (時間・分)
香川県	総数	505	61.9	6.05	490	61.8	5.44	△ 3.0	△ 0.1	△ 0.21
	男	281	71.3	7.02	263	68.5	6.39	△ 6.4	△ 2.8	△ 0.23
	女	223	53.1	4.53	228	55.6	4.42	2.2	2.5	△ 0.11
全国	総数	67,291	62.6	5.55	68,204	63.9	5.40	1.4	1.3	△ 0.15
	男	37,590	72.1	6.49	37,530	72.5	6.27	△ 0.2	0.4	△ 0.22
	女	29,701	53.7	4.47	30,674	55.9	4.42	3.3	2.2	△ 0.05

図2 男女別仕事時間の推移（平成13年～令和3年 香川県、全国）一週全体、有業者



《参考》

15歳以上

- 「有業者」
 - 主に仕事
 - 家事などのかたわらに仕事
 - 通学のかたわらに仕事
- 「無業者」
 - 家事
 - 通学
 - その他

ふだんの就業状態不詳

※ 仕事…収入を伴う仕事をいい、自家営業（農業や店の仕事など）の手伝いや、内職・アルバイトなども含む。

（※）有業率とは、人口に占める有業者の割合で、ふだんの就業状態不詳を除き算出。

$$\left[\text{有業率} = \text{有業者} \div (\text{有業者} + \text{無業者}) \times 100 (\%) \right]$$

4 介護・看護時間

介護者数は増加し、介護者における介護・看護時間は減少。

15歳以上でふだん家族を介護している人（※）（以下「介護者」という。）は5万4千人で、平成28年と比べ3千人の増加となっている。

介護者数を男女別にみると、男性が2万4千人、女性が3万人となっており、女性が介護者全体の約56%を占めている。

年齢階級別にみると、介護者数が最も長い60～69歳で4千人の減少となっている一方、50～59歳で4千人、70歳以上で3千人それぞれ増加している。また、60歳以上で介護者全体の約56%を占めている。（表4）

表4 男女、年齢階級別介護者数（平成28年、令和3年 香川県）一週全体、15歳以上

	平成28年				令和3年				増減		
	人口 (千人)	介護者数 (千人)	人口に占める介護者の割合 (%)	構成比 (%)	人口 (千人)	介護者数 (千人)	人口に占める介護者の割合 (%)	構成比 (%)	介護者数 (千人)	人口に占める介護者の割合 (ポイント)	構成比 (ポイント)
総数	817	51	6.2	100.0	796	54	6.8	100.0	3	0.6	0.0
30歳未満	126	3	2.4	5.9	121	2	1.7	3.7	-1	-0.7	-2.2
30～39歳	108	1	0.9	2.0	96	1	1.0	1.9	0	0.1	-0.1
40～49歳	135	5	3.7	9.8	131	6	4.6	11.1	1	0.9	1.3
50～59歳	112	11	9.8	21.6	117	15	12.8	27.8	4	3.0	6.2
60～69歳	152	20	13.2	39.2	118	16	13.6	29.6	-4	0.4	-9.6
70歳以上	184	11	6.0	21.6	213	14	6.6	25.9	3	0.6	4.3
男	396	23	5.8	45.1	385	24	6.2	44.4	1	0.4	-0.7
30歳未満	65	63	1	1.6	1.9
30～39歳	54	49
40～49歳	68	3	4.4	5.9	66	3	4.5	5.6	0	0.1	-0.3
50～59歳	55	5	9.1	9.8	58	5	8.6	9.3	0	-0.5	-0.5
60～69歳	74	9	12.2	17.6	57	8	14.0	14.8	-1	1.8	-2.8
70歳以上	78	5	6.4	9.8	93	6	6.5	11.1	1	0.1	1.3
女	422	29	6.9	56.9	411	30	7.3	55.6	1	0.4	-1.3
30歳未満	61	58
30～39歳	53	1	1.9	2.0	47
40～49歳	67	2	3.0	3.9	65	3	4.6	5.6	1	1.6	1.7
50～59歳	57	6	10.5	11.8	59	9	15.3	16.7	3	4.8	4.9
60～69歳	78	11	14.1	21.6	61	8	13.1	14.8	-3	-1.0	-6.8
70歳以上	105	6	5.7	11.8	121	8	6.6	14.8	2	0.9	3.0

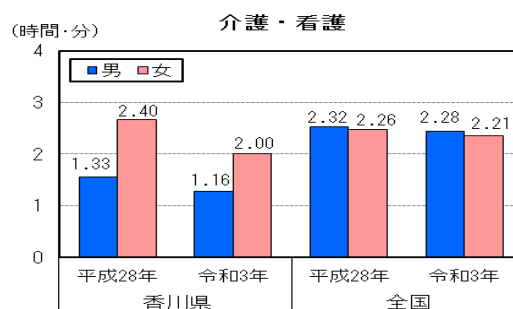
（※）ふだんの状態がはっきり決められない場合は、1年間に30日以上介護をしていれば「ふだん介護をしている」とした。

介護者のうち、調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）について、平成28年と比べると、男性、女性共に介護・看護時間は減少している。

また、全国と比べると、男性、女性共に介護・看護時間は短くなっている。（図3）

図3 介護者の介護・看護の行動者平均時間の推移
（平成28年、令和3年 香川県、全国）

一週全体、15歳以上



5 6歳未満の子供を持つ世帯の家事及び育児時間

妻の家事時間は全国より短い、育児時間は男女ともに長い。

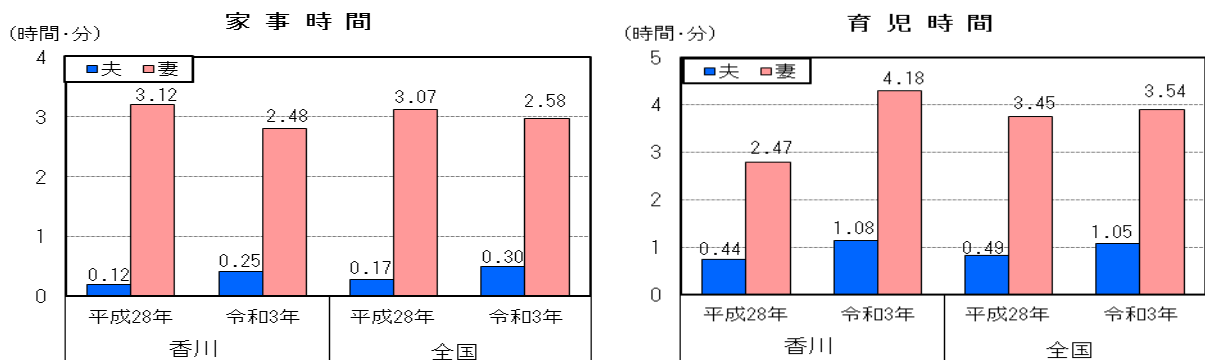
子供がいる世帯のうち、6歳未満の子供がいる世帯について、夫と妻の家事関連時間をみると、平成28年に比べ、夫の家事時間は25分で13分増加、育児時間は1時間8分で24分増加している。一方、妻の家事時間は2時間48分で24分の減少、育児時間は4時間18分で1時間31分の増加となっている。(表5)

また、全国と比べると、夫の家事時間は5分短い、育児時間は3分長くなっている。一方、妻の家事時間は10分短く、育児時間は24分長くなっている。(図4)

表5 6歳未満の子供を持つ夫・妻の行動の種類別生活時間
(平成28年、令和3年 香川県) 一週全体、夫婦と子供の世帯

	夫			妻		
	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減
1次活動	9.54	10.04	0.10	10.35	10.18	△ 0.17
睡眠	7.14	7.36	0.22	7.40	7.45	0.05
身の回りの用事	1.19	1.11	△ 0.08	1.20	1.12	△ 0.08
食事	1.21	1.17	△ 0.04	1.35	1.21	△ 0.14
2次活動	10.13	10.31	0.18	9.07	10.53	1.46
仕事等	8.52	8.48	△ 0.04	2.30	3.12	0.42
通勤・通学	0.38	0.42	0.04	0.15	0.22	0.07
仕事	8.12	8.06	△ 0.06	2.13	2.49	0.36
学業	0.02	0.00	△ 0.02	0.02	0.01	△ 0.01
家事関連	1.21	1.43	0.22	6.37	7.42	1.05
家事	0.12	0.25	0.13	3.12	2.48	△ 0.24
介護・看護	0.09	0.01	△ 0.08	0.03	0.04	0.01
育児	0.44	1.08	0.24	2.47	4.18	1.31
買い物	0.16	0.09	△ 0.07	0.35	0.32	△ 0.03
3次活動	3.52	3.25	△ 0.27	4.18	2.48	△ 1.30
移動(通勤・通学を除く)	0.30	0.23	△ 0.07	0.44	0.39	△ 0.05
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	0.43	0.24	△ 0.19	0.50	0.19	△ 0.31
休養・くつろぎ	1.30	1.50	0.20	1.30	1.11	△ 0.19
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.02	0.06	0.04	0.03	0.01	△ 0.02
趣味・娯楽	0.22	0.14	△ 0.08	0.18	0.12	△ 0.06
スポーツ	0.09	0.05	△ 0.04	0.03	0.02	△ 0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.13	0.01	△ 0.12	0.05	0.00	△ 0.05
交際・付き合い	0.12	0.11	△ 0.01	0.09	0.05	△ 0.04
受診・療養	0.00	0.01	0.01	0.15	0.00	△ 0.15
その他	0.12	0.11	△ 0.01	0.22	0.18	△ 0.04

図4 6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事及び育児時間
(平成28年、令和3年 香川県、全国) 一週全体、夫婦と子供の世帯



(注) 家事関連時間……「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計。

6 高齢者の生活時間

男性も女性も、仕事等の時間及び家事関連時間が全国より長い。

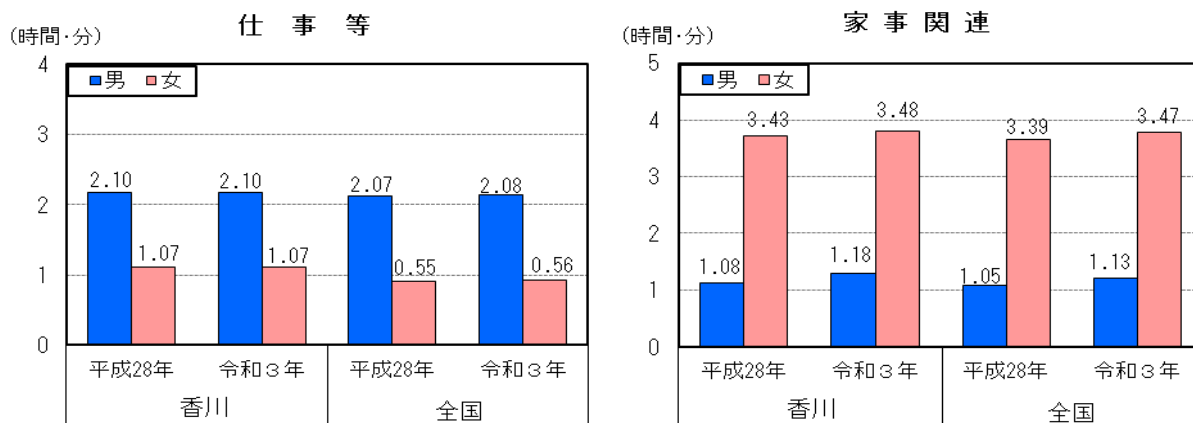
65歳以上の高齢者の生活時間について、男女別に平成28年と比べると、男性は仕事等の時間が2時間10分、女性は1時間7分であり、共に同じ長さとなっている。家事関連時間は、男性が1時間18分で10分の増加、女性は3時間48分で5分の増加となっている。(表6)

また、全国と比べると、男性は仕事等の時間が2分長く、家事関連時間が5分長くなっており、一方、女性は仕事等の時間が11分長く、家事関連時間は1分長くなっている。(図5)

表6 男女、行動の種類別生活時間（平成28年、令和3年 香川県）一週全体、65歳以上

	(時間・分)									
	総数				男			女		
	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減	
1次活動	11.34	11.38	0.04	11.39	11.38	△0.01	11.30	11.38	0.08	
睡眠	8.05	8.12	0.07	8.20	8.25	0.05	7.54	8.01	0.07	
身の回りの用事	1.32	1.33	0.01	1.24	1.19	△0.05	1.39	1.44	0.05	
食事	1.56	1.53	△0.03	1.55	1.54	△0.01	1.57	1.52	△0.05	
2次活動	4.10	4.16	0.06	3.20	3.30	0.10	4.50	4.53	0.03	
仕事等	1.35	1.34	△0.01	2.10	2.10	0.00	1.07	1.07	0.00	
通勤・通学	0.07	0.08	0.01	0.10	0.11	0.01	0.05	0.06	0.01	
仕事	1.27	1.26	△0.01	1.59	1.59	0.00	1.01	1.00	△0.01	
学業	0.01	0.00	△0.01	0.01	0.00	△0.01	0.01	0.01	0.00	
家事関連	2.34	2.41	0.07	1.08	1.18	0.10	3.43	3.48	0.05	
家事	1.53	2.04	0.11	0.38	0.51	0.13	2.54	3.02	0.08	
介護・看護	0.08	0.04	△0.04	0.04	0.03	△0.01	0.11	0.05	△0.06	
育児	0.03	0.02	△0.01	0.02	0.01	△0.01	0.04	0.04	0.00	
買い物	0.30	0.31	0.01	0.24	0.23	△0.01	0.34	0.37	0.03	
3次活動	8.16	8.06	△0.10	9.01	8.52	△0.09	7.40	7.29	△0.11	
移動(通勤・通学を除く)	0.27	0.19	△0.08	0.28	0.17	△0.11	0.26	0.21	△0.05	
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	4.08	4.17	0.09	4.31	4.57	0.26	3.51	3.45	△0.06	
休養・くつろぎ	1.41	1.43	0.02	1.43	1.38	△0.05	1.40	1.47	0.07	
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.08	0.05	△0.03	0.08	0.06	△0.02	0.08	0.05	△0.03	
趣味・娯楽	0.38	0.39	0.01	0.47	0.48	0.01	0.30	0.31	0.01	
スポーツ	0.16	0.17	0.01	0.22	0.24	0.02	0.12	0.11	△0.01	
ボランティア活動・社会参加活動	0.07	0.03	△0.04	0.10	0.03	△0.07	0.04	0.02	△0.02	
交際・付き合い	0.16	0.09	△0.07	0.14	0.07	△0.07	0.18	0.11	△0.07	
受診・療養	0.11	0.12	0.01	0.11	0.10	△0.01	0.11	0.14	0.03	
その他	0.24	0.21	△0.03	0.28	0.22	△0.06	0.21	0.21	0.00	

図5 男女、主な行動の種類別生活時間（平成28年、令和3年 香川県、全国）一週全体、65歳以上



(注) 仕事等……「通勤・通学」、「仕事」及び「学業」の合計。
家事関連…「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計。

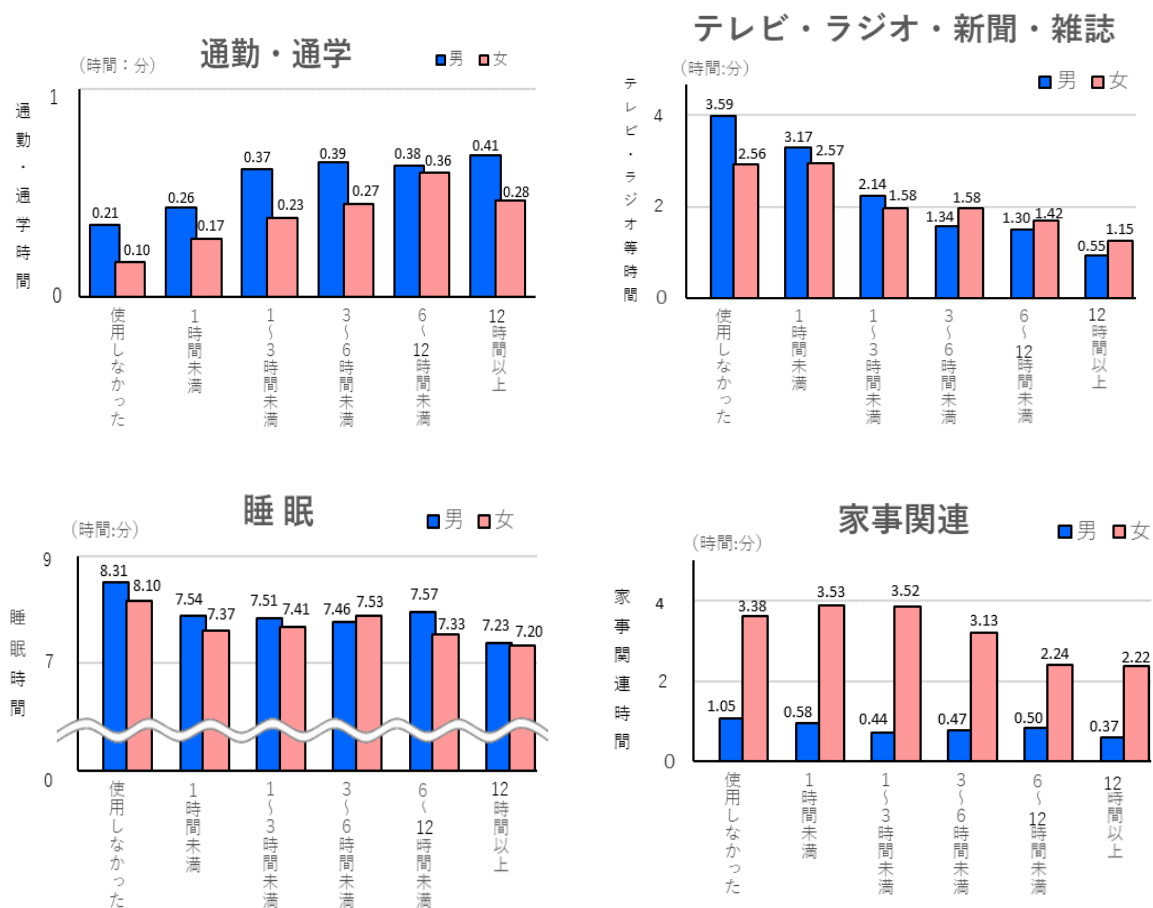
7 スマートフォン・パソコンなどの使用状況

スマートフォン・パソコンなどの使用時間が長い人は通勤・通学の時間が長く、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が短い傾向。

1日のスマートフォン・パソコンなどの使用時間の長さの違いによる生活時間の配分についてみると、男女共に、スマートフォン・パソコンなどの使用時間が長いほど、通勤・通学時間が長く、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、家事関連の時間が短い傾向となっている。

睡眠時間については、男女共にスマートフォン・パソコンなどを使用しなかった人が最も長く、12時間以上使用する人が最も短くなっている。(図6)

図6 男女、スマートフォン・パソコンなどの使用時間、主な行動の種類別生活時間(令和3年 香川県)一週全体(※)



(※) グラフの縦軸が行動の種類別生活時間、横軸がスマートフォン・パソコンなどの使用時間。

(注) ここでいう「スマートフォン・パソコンなど」とは、スマートフォン・パソコンのほか、スマートフォン以外の携帯電話、タブレット型端末を含む。

(注) ここでいう「スマートフォン・パソコンなどの使用」とは、学業、仕事以外の目的で使用した場合をいう。

8 香川県の通勤・通学時間

通勤・通学時間は1時間前後で推移しており、全国より15分短い。

15歳以上の通勤・通学時間（行動者平均時間、平日平均）をみると、令和3年は1時間6分で、平成28年と比べ、4分長くなっている。なお、過去30年の通勤・通学時間をみると、一番短いのが平成13年の53分、一番長いのが令和3年の1時間6分と、1時間前後で推移しているのが分かる。（表8-1、図7）

また、全国と比べると、15分短くなっており、都道府県のなかでは30番目の長さとなっている。（表8-1、8-2）

表8-1 男女別通勤・通学の行動者平均時間
（平成3年～令和3年 香川県、全国）
－平日、15歳以上

	香川県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女
平成3年	1.03	1.06	0.59	1.21	1.24	1.15
平成8年	0.57	0.59	0.54	1.16	1.21	1.08
平成13年	0.53	0.56	0.49	1.15	1.20	1.07
平成18年	1.00	1.05	0.54	1.16	1.22	1.08
平成23年	0.57	1.01	0.52	1.17	1.22	1.09
平成28年	1.02	1.06	0.57	1.22	1.27	1.13
令和3年	1.06	1.10	1.01	1.21	1.27	1.13

図7 男女別通勤・通学の行動者平均時間
（平成3年～令和3年 香川県、全国）
－平日、15歳以上

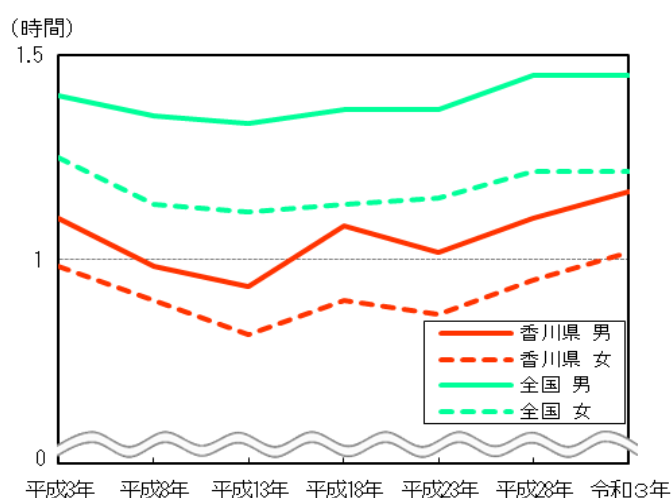


表8-2 通勤・通学の行動者平均時間
（令和3年）－平日、15歳以上

順位	都道府県	通勤・通学時間 (時間・分)
1	神奈川県	1.44
2	埼玉県	1.39
2	千葉県	1.39
4	東京都	1.38
5	奈良県	1.31
6	大阪府	1.30
7	兵庫県	1.28
8	京都府	1.24
9	茨城県	1.21
9	愛知県	1.21
	全 国	1.21
11	三重県	1.18
12	広島県	1.17
13	宮城県	1.16
14	滋賀県	1.15
15	岡山県	1.13
16	福岡県	1.12
17	栃木県	1.11
17	岐阜県	1.11
19	長崎県	1.10
20	群馬県	1.09
20	静岡県	1.09
20	熊本県	1.09

23	福島県	1.08
23	長野県	1.08
23	山口県	1.08
23	沖縄県	1.08
27	和歌山県	1.07
27	佐賀県	1.07
27	大分県	1.07
30	山梨県	1.06
30	香川県	1.06
32	北海道	1.05
33	岩手県	1.04
33	富山県	1.04
33	島根県	1.04
33	高知県	1.04
37	青森県	1.03
37	福井県	1.03
37	鹿児島県	1.03
40	石川県	1.02
40	徳島県	1.02
42	秋田県	1.01
42	新潟県	1.01
44	鳥取県	0.59
45	愛媛県	0.58
46	宮崎県	0.57
47	山形県	0.56

II 生活行動に関する結果の概要

用語と分類

1 過去1年間に行った活動

この調査では、自由時間における「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」について、過去1年間の活動状況をそれぞれの種類別に「行ったか否か」、また、行った場合には、1年間の活動の「頻度」や「目的」、「方法」、「共にした人」などを調査した。

活 動	説 明
学習・自己啓発・訓練	個人の自由時間の中で行う学習、自己啓発や訓練をいう。社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。
ボランティア活動	報酬を目的としないで、自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のために行っている活動をいう。
スポーツ	個人の自由時間の中で行う「スポーツ」をいう。なお、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。
趣味・娯楽	仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいう。
旅行・行楽	旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除く。行楽は、日常生活圏を離れて宿泊を伴わず、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含む。

2 行動者数、行動者率

*行動者数

過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日）に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数。なお、数値は母集団における行動者数の推定値である。

*行動者率

10歳以上人口に占める行動者数の割合。次の式により算出した。

$$\text{行動者率} = \text{行動者数} \div \text{各属性の10歳以上人口} \times 100 (\%)$$

1 学習・自己啓発・訓練

「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は34.1%で、5年前と同率。

「学習・自己啓発・訓練」について、過去1年間（令和2年10月20日～3年10月19日。以下同じ。）に何らかの種類の活動を行った人（10歳以上）の数（行動者数。以下同じ。）は28万6千人で、10歳以上の人口に占める割合（行動者率。以下同じ。）は34.1%となっている。「学習・自己啓発・訓練」の行動者率を種類別にみると、「パソコンなどの情報処理」が14.0%と最も高く、次いで「家政・家事」が12.1%、「芸術・文化」が9.4%などとなっている。

平成28年との比較では、「学習・自己啓発・訓練」全体の行動者率は同率であるが、内訳として上昇しているのは、「パソコンなどの情報処理」（+4.2ポイント）、「家政・家事」（+1.6ポイント）などであり、低下しているのは、「芸術・文化」（△0.8ポイント）であった。

また、全国との比較では、「学習・自己啓発・訓練」全体の行動者率が全国より5.5ポイント低くなっており、「介護関係」は0.2ポイント高くなっているものの、その他全ての種類で行動者率が全国より低くなっている。（図1、表1）

図1 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県）

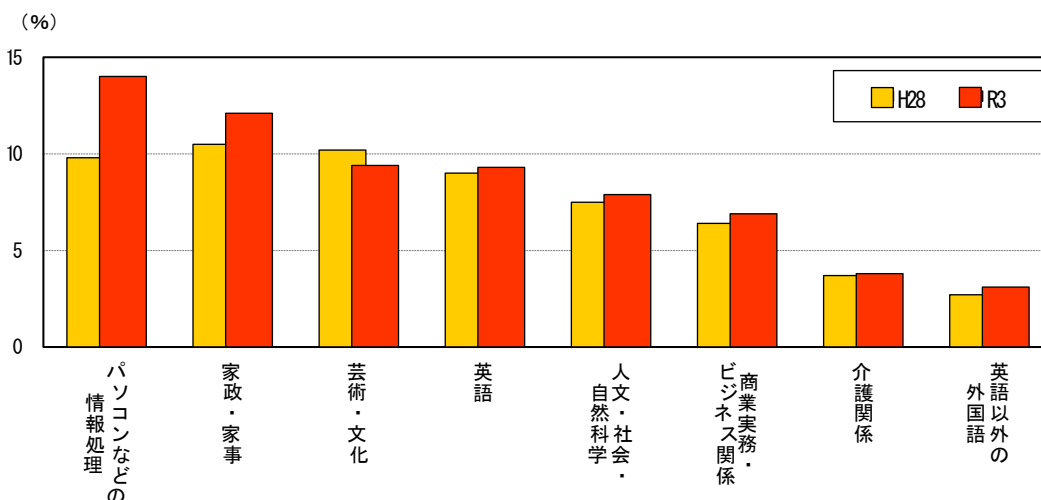


表1 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県、全国）

		(%、ポイント)												
		総数	外国語	英語			商業実務・ビジネス関係(総数)	パソコンなどの情報処理	商業実務・ビジネス関係	介護関係	家政・家事	人文・社会・自然科学	芸術・文化	その他
				英語	英語以外の外国語	英語以外の外国語								
香川県	令和3年	34.1	10.2	9.3	3.1	16.9	14.0	6.9	3.8	12.1	7.9	9.4	7.9	
	平成28年	34.1	9.8	9.0	2.7	13.2	9.8	6.4	3.7	10.5	7.5	10.2	8.1	
	増減	0.0	0.4	0.3	0.4	3.7	4.2	0.5	0.1	1.6	0.4	△0.8	△0.2	
全国	令和3年	39.6	14.1	12.8	4.2	20.1	16.5	8.5	3.6	13.5	9.8	11.2	7.9	
	平成28年	36.9	12.9	11.9	3.4	16.2	12.5	7.2	3.5	11.2	8.6	11.7	8.5	
	増減	2.7	1.2	0.9	0.8	3.9	4.0	1.3	0.1	2.3	1.2	△0.5	△0.6	

(注)「学習・自己啓発・訓練」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

2 ボランティア活動

「ボランティア活動」の行動者率は18.1%で、5年前より10.1ポイント低下。

「ボランティア活動」の行動者数は15万1千人で、行動者率は18.1%となっている。

「ボランティア活動」の行動者率を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が8.7%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が4.6%、「自然や環境を守るための活動」が3.7%などとなっている。

平成28年との比較では、「ボランティア活動」全体の行動者率が10.1ポイント低下しており、「国際協力に関係した活動」の同率以外、全ての種類で低下している。最も低下しているのは「まちづくりのための活動」(△5.7ポイント)となっており、次いで「子供を対象とした活動」(△4.4ポイント)などとなっている。

また、全国との比較では、「ボランティア活動」全体の行動者率が全国より0.3ポイント高くなっており、特に「まちづくりのための活動」は1.3ポイント高くなっている。(図2, 表2)

図2 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県）

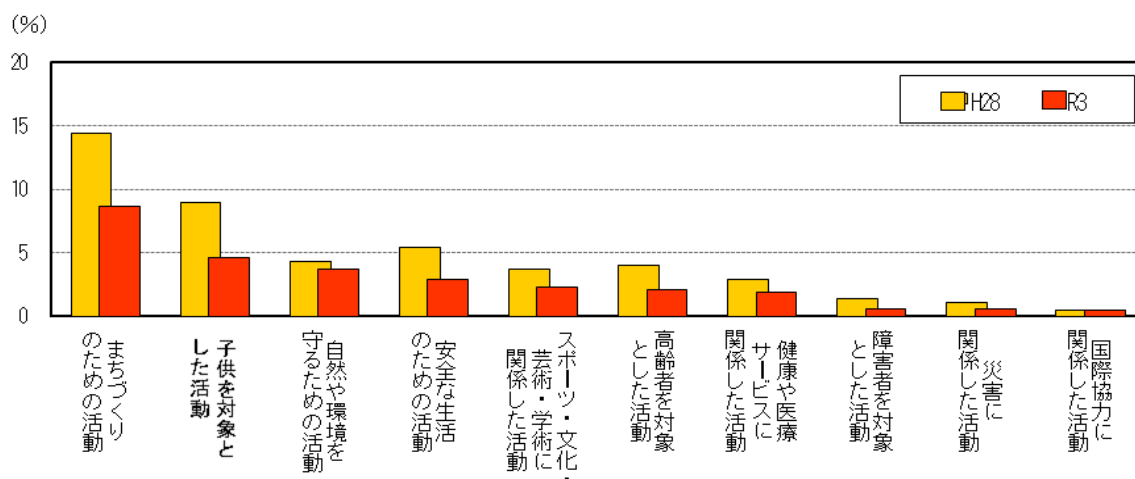


表2 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県、全国）

		(%、ポイント)											
		総数	まちづくりのための活動	子供を対象とした活動	自然や環境を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	健康や医療サービスに関係した活動	障害者を対象とした活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他
香川県	令和3年	18.1	8.7	4.6	3.7	2.9	2.3	2.1	1.9	0.6	0.6	0.5	1.9
	平成28年	28.2	14.4	9.0	4.3	5.4	3.7	4.0	2.9	1.4	1.1	0.5	2.9
	増減	△10.1	△5.7	△4.4	△0.6	△2.5	△1.4	△1.9	△1.0	△0.8	△0.5	0.0	△1.0
全国	令和3年	17.8	7.4	4.6	3.0	3.1	2.8	2.4	2.1	0.9	0.8	0.8	2.0
	平成28年	26.0	11.3	8.4	4.0	5.0	3.7	3.8	2.9	1.5	1.5	0.9	2.6
	増減	△8.2	△3.9	△3.8	△1.0	△1.9	△0.9	△1.4	△0.8	△0.6	△0.7	△0.1	△0.6

3 スポーツ

「スポーツ」の行動者率は61.8%で、5年前より4.2ポイント低下。

「スポーツ」の行動者数は51万8千人で、行動者率は61.8%となっている。

「スポーツ」の行動者率を種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が39.6%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が10.0%、「つり」が9.7%などとなっている。

平成28年との比較では、「スポーツ」全体の行動者率が4.2ポイント低下しており、「ボウリング」(△5.7ポイント)、「器具を使ったトレーニング」(△4.1ポイント)などが低下している一方、「サイクリング」(+0.4ポイント)、「バスケットボール」(+0.3ポイント)、「ジョギング・マラソン」(+0.3ポイント)などは上昇している。

また、全国との比較では、「スポーツ」全体の行動者率が全国より4.7ポイント低く、「ウォーキング・軽い体操」(△4.7ポイント)などと低くなっている一方、「つり」(+1.9ポイント)、バレーボール(+0.7ポイント)などで全国より高くなっている。(図3、表3)

図3 「スポーツ」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県）

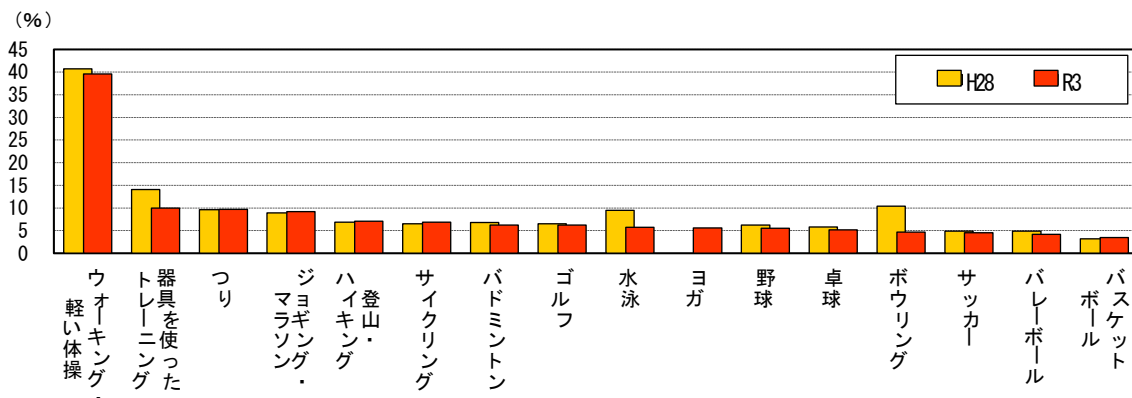


表3 「スポーツ」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県、全国）

		(%、ポイント)												
		総数	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	つり	ジョギング・マラソン	登山・ハイキング	サイクリング	バドミントン	ゴルフ(練習場を含む)	水泳	ヨガ	野球(キャッチボールを含む)	
香川県	令和3年	61.8	39.6	10.0	9.7	9.2	7.1	6.9	6.2	6.2	5.7	5.6	5.5	
	平成28年	66.0	40.7	14.1	9.6	8.9	6.9	6.5	6.8	6.5	9.5	...	6.2	
	増減	△4.2	△1.1	△4.1	0.1	0.3	0.2	0.4	△0.6	△0.3	△3.8	...	△0.7	
全国	令和3年	66.5	44.3	12.9	7.8	11.1	7.7	8.2	6.1	6.9	5.7	5.5	6.3	
	平成28年	68.8	41.3	14.7	8.7	12.1	10.0	7.9	6.7	7.9	11.0	...	7.2	
	増減	△2.3	3.0	△1.8	△0.9	△1.0	△2.3	0.3	△0.6	△1.0	△5.3	...	△0.9	

		(%、ポイント)				
		卓球	ボウリング	サッカー(フットサルを含む)	バレーボール	バスケットボール
香川県	令和3年	5.2	4.7	4.5	4.2	3.5
	平成28年	5.8	10.4	4.9	4.9	3.2
	増減	△0.6	△5.7	△0.4	△0.7	0.3
全国	令和3年	4.9	5.1	4.7	3.5	3.6
	平成28年	6.8	12.7	6.0	4.5	4.3
	増減	△1.9	△7.6	△1.3	△1.0	△0.7

(注1) 「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(注2) 「ヨガ」は令和3年に固定項目に追加

(注3) 「スポーツ」の種類は、香川県における男女総数の行動者率が3.5%以上の種類を表章

4 趣味・娯楽

「趣味・娯楽」の行動者率は82.9%で、5年前より2.3ポイント低下。

「趣味・娯楽」の行動者数は69万5千人で、行動者率は82.9%となっている。

「趣味・娯楽」の行動者率を種類別にみると、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が47.6%と最も高く、次いで「映画館以外での映画鑑賞」が46.9%、「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が39.6%などとなっている。

平成28年との比較では、「趣味・娯楽」全体の行動者率は2.3ポイント低下しており、「カラオケ」(△11.8ポイント)、「遊園地・動植物園・水族館などの見物」(△10.5ポイント)などは低下している一方、「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」(+6.8ポイント)、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」(+4.9ポイント)などは上昇している。

また、全国との比較では、「趣味・娯楽」全体の行動者率が全国より3.4ポイント低く、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」(△5.9ポイント)、「映画館以外での映画鑑賞」(△5.8ポイント)などが低くなっている一方、「園芸・庭いじり・ガーデニング」(+1.4ポイント)などが全国より高くなっている。(図4、表4)

図4 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成28年、令和3年 香川県)

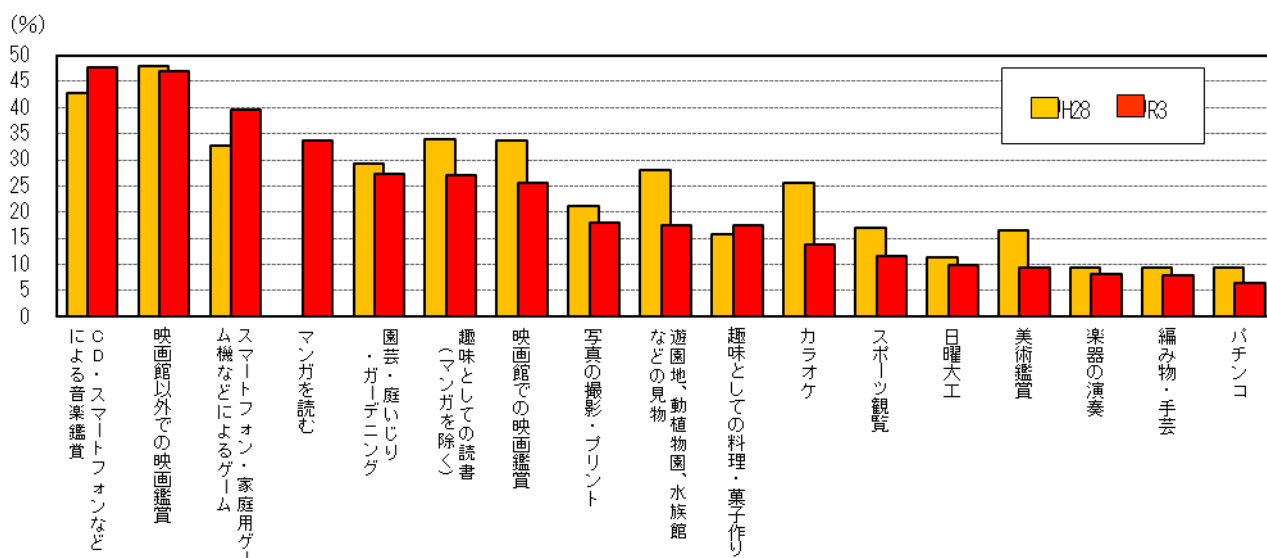


表4 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成28年、令和3年 香川県、全国)

		(%,ポイント)																	
		総数	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	マンガを読む	園芸・庭いじり・ガーデニング	趣味としての読書(マンガを除く)	映画館での映画鑑賞	写真の撮影・プリント	遊園地・動植物園・水族館などの見物	趣味としての料理・菓子作り	カラオケ	スポーツ観戦(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	日曜大工	美術鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	楽器の演奏	編み物・手芸	パチンコ
香川県	令和3年	82.9	47.6	46.9	39.6	33.6	27.4	27.0	25.5	18.0	17.6	17.5	13.7	11.5	9.9	9.3	8.2	7.9	6.5
	平成28年	85.2	42.7	48.0	32.8	...	29.3	33.9	33.6	21.2	28.1	15.9	25.5	17.1	11.3	16.6	9.5	9.5	9.4
	増減	△2.3	4.9	△1.1	6.8	...	△1.9	△6.9	△8.1	△3.2	△10.5	1.6	△11.8	△5.6	△1.4	△7.3	△1.3	△1.6	△2.9
全国	令和3年	86.3	53.5	52.7	42.9	36.8	26.0	31.6	29.8	21.9	19.0	19.0	13.5	14.5	11.0	11.4	10.2	8.8	6.3
	平成28年	87.0	49.0	52.1	35.8	...	25.7	38.7	39.6	24.9	33.8	17.8	30.7	21.5	10.9	19.4	10.9	10.6	8.5
	増減	△0.7	4.5	0.6	7.1	...	0.3	△7.1	△9.8	△3.0	△14.8	1.2	△17.2	△7.0	0.1	△8.0	△0.7	△1.8	△2.2

(注1)「趣味としての読書(マンガを除く)」は、平成28年は「趣味としての読書」としてマンガを含めて把握しており、マンガを除いている令和3年は定義の変更があるため比較には注意を要する。また、「マンガを読む」を令和3年に固定項目に追加している。

(注2)「趣味・娯楽」の種類は、香川県における男女総数の行動者率が5%以上の種類を表章

5 旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者率は39.0%で、5年前と比べて28.5ポイントの大幅な低下。

「旅行・行楽」の行動者数は32万6千人で、行動者率は39.0%となっている。

「旅行・行楽」の行動者率を種類別にみると、「行楽（日帰り）」が32.1%と最も高く、次いで「観光旅行（国内）」が14.1%、「帰省・訪問などの旅行（国内）」が10.6%などとなっている。

平成28年との比較では、「旅行・行楽」全体の行動者率が28.5ポイント低下しており、「観光旅行（国内）」（△26.6ポイント）、「行楽（日帰り）」（△22.8ポイント）など、全ての種類で低下している。

また、全国との比較では、「旅行・行楽」全体の行動者率が全国より10.5ポイント低く、全ての種類で低くなっている。（図5、表5）

図5 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県）

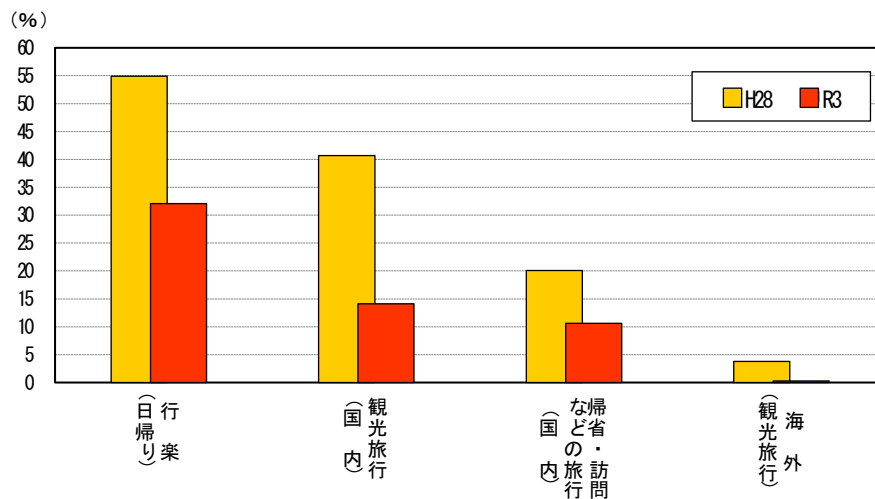


表5 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成28年、令和3年 香川県、全国）

		総数	行楽 (日帰り)	旅行(1泊2日以上)				
				総数	国内		海外 (観光旅行)	
					総数	観光旅行		帰省・訪問 などの旅行
香川県	令和3年	39.0	32.1	21.3	21.2	14.1	10.6	0.3
	平成28年	67.5	54.9	50.4	49.5	40.7	20.1	3.8
	増減	△28.5	△22.8	△29.1	△28.3	△26.6	△9.5	△3.5
全国	令和3年	49.5	40.5	32.3	32.2	25.0	14.3	0.4
	平成28年	73.5	59.3	59.1	58.0	48.9	26.0	7.2
	増減	△24.0	△18.8	△26.8	△25.8	△23.9	△11.7	△6.8